

開催月日 : 平成 25年 6月 13日

平成25年度第1回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携推進会議

時間	am / (pm) 11:00 ~ am / (pm) 12:00	場所	千代区役所4階404会議室
司会	●● ●●	書記	峯 俊美
出席者	高齢介護課事業指定係: ●●●●様・●●●●様・●●●●様		
	千代田区社会福祉協議会: ●●●●様		
	千代田区高齢者あんしんセンター: ●●●●様(麴町)・金井英明(神田)		
	医療機関: ●●●●様(九段坂病院)・●●●●様(九段坂病院)・●●●●様(三楽病院)		
	訪問看護: ●●●●様(九段訪問看護)・●●●●様(アクア訪問看護)・●●●●様(神田訪問看護)		
	ご利用者家族: ●●●●様・●●●●様		
	知見を有する者: ●●●●様・●●●●様・●●●●様・柳谷ハルミ		
	グットライフ24: ●●●●・●●●●・●●●●・●●●●・●●●●・●●●●		
	かんだ連雀: 武田潤一郎・中嶋恵以子・峯俊美		
	以上27名参加		
欠席者: ●●●●様(千代田医師会)・●●●●様(神田医師会)・●●●●様(神田訪問看護) 民生委員代表(会議日時点調整中)・●●●●様(ご利用者)			
会議内容	1. 開会挨拶 グットライフ24管理者 ●● ●●		
	2. 保健者挨拶 千代田区高齢介護課事業指定係 ●● ●●様		
	3. 参加者紹介		
	4. 事業者紹介 かんだ連雀について 峯 俊美 グットライフ24について ●● ●●		
	5. サービス提供状況報告 & 事例紹介 グットライフ24 ●● ●●・●● ●● かんだ連雀いつでもサポートサービス 中嶋 恵以子		
	6. 意見交換		
	7. 閉会の挨拶 かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者 武田 潤一郎		

詳 細
1. 開会挨拶
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携推進会議を、2事業所合同で行う事は、全国的にも例がなく千代田区の協力の賜物である。今後も合同で行うことで、千代田区としての定期巡回が共に発展して行けるように協力していきたい。
2. 保険者挨拶
平成25年4月から、千代田区で定期巡回・随時対応型訪問介護看護が開始になった。 大幅なサービス拡大が困難な中、新たに始まった定期巡回・随時対応型訪問介護看護に、安心できる在宅生活提供を期待したい。
3. 参加者紹介
※別紙(定期・随時連携推進会議構成員名簿)参照
4. 事業者紹介
※別紙(各パンフレット)参照
5. サービス提供状況報告 & 事例紹介
詳細: 別紙参照
○グッドライフ24利用者情報: 4月定期巡回のサービス開始時は3件、1件入所のため現在は2件です。 ・2件ともに、独居、認知症で、以前より訪問介護サービスを利用していました。 主なニーズは共に薬の管理であり、今年の4月より訪問介護から定期巡回・随時対応型サービスに移行。生活全般からそれぞれの症状にあわせて、トータルの医療・介護の連携で在宅生活を支援している。更に、5月に脱水等による急変時も、迅速な対応で速やかに医療機関に連絡し、入院することができました。現在は、退院され、QOLの向上も含めて、ADLも日々安定してきており、安定した日常生活を送っている。これからの時期、住環境(室温等)やこまめな水分補給の促し、生活状況の把握をより強化しながら、課題に対して定期的な援助をチームケアで支援していく。
○グッドライフ24の定期巡回を利用しているT様について(事例Ⅰ)
・独居、認知症の女性。昨年より薬の管理の支援にて訪問介護サービスを利用。 今年始めに圧迫骨折を発症、激痛が襲いそれに伴いADL低下。 食事の準備から、排泄、保清等生活全般の支援が必要。認知症状もより顕著になり、安否確認のサービス必要も含め、1日2回以上の訪問回数が必要となる。今年4月より、定期巡回随時対応サービスに移行、朝、昼、夕の1日3回の身体、生活面での支援となる。日々による状態の変動も大きく、5月中旬脱水症状、褥瘡等みられ入院、認知症状もより顕著にみられ、入院が難しく、通院に切り替えての治療となり、ほぼ臥床状態となり、1日4回の訪問回数となりました。朝、昼、夕、夜間。区変で要介護2から要介護4となる。その後、定期的な複数回の訪問により、日々の状態も安定し、食欲増進、ADLもアップされ、現在では自宅内を伝え歩きでき、意識もしっかりしてきた状態である。

○グッドライフ24の定期巡回を利用しているF様について(事例Ⅱ)
・独居、認知症の女性。心疾患あり、ペースメーカーの取り付け。
今年に入り、体調を崩され、心身ともに不安定、入退院が頻回となる。
かかりつけ医より、日々の服薬管理が難しくなり、定期的な服薬管理の必要性のためヘルパー導入の指示がある。当初、本人は、しっかり飲めているとヘルパー導入に対して強い拒否があった。ご家族(遠方)、医師、看護師、その他通所系サービス事業所と連携を図りながら、本人に言い聞かせ、訪問介護の介入を納得、3月より訪問介護、4月より定期巡回サービスの移行となった。
現在は、状態も安定し、医療との連携で安否確認も含めた水分補給の促しや室温等環境への配慮、且つ食事状況等も確認することにより生活の質も向上し、以前にもまして心身共に安定してきている。急変時も介護と医療の連携により、迅速に医療機関に連絡し、悪化を防いでいる。
訪問回数は、現在1日2回の服薬確認、他2回の服薬はメモ書きにて、昼、就寝前の服薬を本人に促し、服用状況等、安否確認をしている。最近では、本人が、ヘルパーの訪問をととても心待ちにして、精神的な安定にも大きな前進の変化がある。
○担当介護支援専門員からのコメント
・定期巡回サービス事業の対応、内容には大変満足しております。
介護保険サービスでここまで対応できると、今後、在宅での介護の選択肢も広がるのではと実感しております。利用者のADLのアップ、QOLの向上、維持にもつながっていると感じております。
また現在利用されている方々は、自費のサービスのご利用は一切無く、定期巡回サービスだけの1日複数回での訪問にて、独居且つ症状にあわせた支援をチームケアにて対応しています。
ただ、ケアマネジャーとしての課題は、山積みしております。
この定期巡回サービスをいかにどのようにご利用していただくか、利用者が例えば独居、認知症の方でも、住み慣れた地域で安心して過ごせるか等、この事業には様々なご利用の仕方があるのではないかと感じております。日々、ケアマネジャーとしても、利用の仕方については、模索しており、課題が山積みしております。
○かんだ連雀いつでもサポートサービス…1件の定期巡回を展開中
・自宅で長時間転倒されたままの状態で見つかり、かんだ連雀ショートステイに緊急利用となった。
状態の回復を見て退所し、その同日から定期巡回のサービスを開始した。
認知症状があり、ショート利用後の在宅生活も、最初は混乱や意欲減退があったものの、課題に対して定期的な援助を続けたことで、生活意欲が見られるようになってきた。
6. 意見交換
○あんしんセンター
・定期巡回の開始となり徐々に相談ケースが増えてきている
・重介護のケースでも定期巡回としての受け入れは可能か？
⇒ご利用される利用者の課題等によって展開をしている。実際に重介護者の受け入れも行っている。
・麹町あんしんセンターの依頼で現在動いているケースで、生活に不安定な場面があるものの、利用者からは、緊急コールボタン(随時対応)の時だけ駆けつけてくれないかとの希望がある。

現在、グットライフ24との調整を行っており、定期巡回の内容等を説明し、週1回の定期巡回と随時の対応を検討している。

○現在グットライフ24にて定期巡回の利用をされているT様について(訪問看護ステーションより)
・5月上旬に訪問介護からの要請を受け、訪問看護として自宅へ伺った。家族の希望等を踏まえ入院をしていただいた。もともと床ずれも形成されていたが、こまめな訪問により状態が改善してきている。

○保険者より、鍵の預かり取り扱いについてどうしているか？

・鍵の預かりについてどうしているのか？

⇒両事業所共に、鍵の預かりを行っている。

⇒訪問介護の場合、法令上鍵の預かりについて難しいが、定期巡回の場合は運営基準に則し、双方の同意や事業所の管理徹底の上で行うことが出来る。

・ここ最近、区へ『痰の吸引』の問題から、定期巡回サービスは可能か？という問い合わせがあったか如何か？

⇒かんだ連雀いつでもサポートサービス・・・痰の吸引を行う内容(口腔内・咽頭)や頻度などによって違うため一概には言えない。個別ケースでの検討となる。

⇒グットライフ24・・・介護員の医療行為に対する研修参加を進めている。大阪支局では、痰の吸引も対応しているが、現時点での千代田区定期巡回グットライフ24では、全職員の研修が出来ているわけではない為、困難な場面が想定される。

7. 閉会挨拶

多くの関係機関の方に集まっていた頂き、定期巡回の今後の発展の意味においても、とても有意義な時間であった。今後も千代田区の協力をいただきながら、2つの事業所が協力して千代田区の在宅生活の支えになっていければと思う。